

佐野美術館創立 60 周年・三島市制 85 周年 記念

さのびコレクション

旅する昔ばなし

名所・山水・物語の絵画から



葛飾北斎《田植図》江戸時代・天保14年（1843）佐野美術館蔵

佐野美術館は、2026年7月4日[土]から8月30日[日]まで、「旅」と「物語」をテーマとした展覧会「さのびコレクション 旅する昔ばなし 一名所・山水・物語の絵画から」を開催します。

日本人は、四季の移ろいや起伏に富む自然の風景に美を見だし、古くから絵画や文学に表してきました。

本展では、名所の活を描いた屏風、深山での文人の暮らしを映す山水画、物語の登場人物の活躍をとらえた浮世絵版画を中心に、能面や装身具などもあわせて展示します。中世から近代までの約70点を通して「旅する昔ばなし」を紹介します。

展覧会について

本展は、第1章「あこがれの地を旅する」、第2章「親孝行と神仏のものがたり」、第3章「源平のものがたり」の三部構成です。第1章では、街道整備により往来が盛んとなった江戸期の三島の様子を伝える《三島宿風俗絵屏風》をはじめ、名所の賑わいを描いた《和歌浦天橋立図屏風》や、初夏の情景が瑞々しい葛飾北斎の肉筆画《田植図》など、風光明媚な景勝地を旅するように楽しめる作品を紹介します。

第2章では、親孝行譚や神仏にまつわる伝承を題材とした作品を通じ、人々の信仰や暮らしに触れます。禅の民衆教化に尽力した白隠慧鶴の《恵比寿図》など、近年再評価が進む名僧の絵画も見どころです。

第3章では、最後の浮世絵師とも称される月岡芳年の晩年の傑作《月百姿》を中心に、幕末から明治期の浮世絵版画より、源平にゆかりのある作品を取り上げます。

また、作品に描かれた景物や人物に注目し、画中の主人公たちの視点から物語を読み解くことで、絵画鑑賞のひとつの楽しみ方を提案します。

開催概要

展覧会名：佐野美術館創立 60 周年・三島市制 85 周年 記念

さのびコレクション 旅する昔ばなし 一名所・山水・物語の絵画から

会期・時間・休館日：2026年7月4日[土]–8月30日[日] 10:00-17:00（入館の受付は16:30まで） 木曜日

会場：佐野美術館（〒411-0838 静岡県三島市中田町 1-43）

入館料：一般・大学生 1,300 円（1,000 円） 小・中・高校生 650 円（500 円）

※（ ）内は7月3日までの前売り料金（佐野美術館での取扱いは7月2日まで）

※8月1日（土）は無料（創立者・佐野隆一翁生誕日） ※土曜日は小中学生無料

※8月21日（金）県民の日は各1割引 ※15名以上の団体は各2割引

主催：佐野美術館、三島市、三島市教育委員会 後援：静岡県教育委員会 協賛：伊豆箱根鉄道株式会社

展覧会公式サイト：https://sanobi.or.jp/exhibition/sanobi-collection_2026/

展覧会関連イベント

■明治・大正期の口絵を鑑賞しよう朝日コレクション コレクターの裏話&見どころ講座

7月18日[土] 11:00-12:00 / 14:00-15:00

■学芸員のギャラリートーク 8月8日[土]、8月22日[土] 14:00-

広報用画像

展覧会紹介のための作品画像のデータ等を、プレス関係の方向けにご用意しています。①～⑩の画像を提供できますので、電話またはメールでご連絡ください。

※本展紹介以外での使用、本展終了後の使用、二次利用はお断りします。画像使用の際に、展覧会名、会期、会場、作品クレジット（①は不要）を必ずご記載ください。画像は全図で使用してください。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩

作品クレジット

- ② 葛飾北斎《田植図》江戸時代・天保14年(1843) 佐野美術館蔵
- ③ 重要美術品 岳翁蔵丘《山水図》室町時代(15～16世紀) 佐野美術館蔵
- ④ 白隠慧鶴《恵比寿図》江戸時代・延享～宝暦前期(1744～53)頃 佐野美術館蔵
- ⑤ 《和歌浦天橋立図屏風》江戸時代(18世紀頃)(左隻) 佐野美術館蔵
- ⑥ 三島市指定文化財 小沼満英《三島宿風俗絵屏風》(左隻) 江戸時代・天保年間(1830～44)頃 三島信用金庫蔵
- ⑦ 《沢瀉時絵印籠 銘 是真》江戸時代(19世紀) 佐野美術館蔵
- ⑧ 月岡芳年《つきの百姿 大物海上月 弁慶》明治19年(1886) 個人蔵
- ⑨ 月岡芳年《月百姿 雨後の山月 時致》明治18年(1885) 個人蔵
- ⑩ 月岡芳年《月百姿 五條橋の月》明治21年(1888) 個人蔵